

T O K Y O S T R A T A ・ 2 0 2 6

東京 22 区 形態 地層

耐火構造 × 高度

290 万棟の建物から読み解く

東京の都市考古学

形態は時代の代理指標である

東京 22 区、290 万棟の建築物を耐火構造と高度の二軸で読み解いた地層図。建築年は記録されていないが、形態が時代の代理として浮かび上がる。

朽葉が古層、月白が現代層。皇居を中心に、北は足立・葛飾の下町、南は大田の海岸、西は世田谷・練馬の郊外住宅地まで——一枚の地図に重なる東京の時間を読む。以下は焦点 7 区の編集の選。

- | | |
|-------|---------|
| ■ 朽葉 | 古き木造の街 |
| ■ 利休茶 | 戦後の小棲 |
| ■ 銀鼠 | 高度成長の中層 |
| ■ 月白 | 現代の塔 |



荒 川

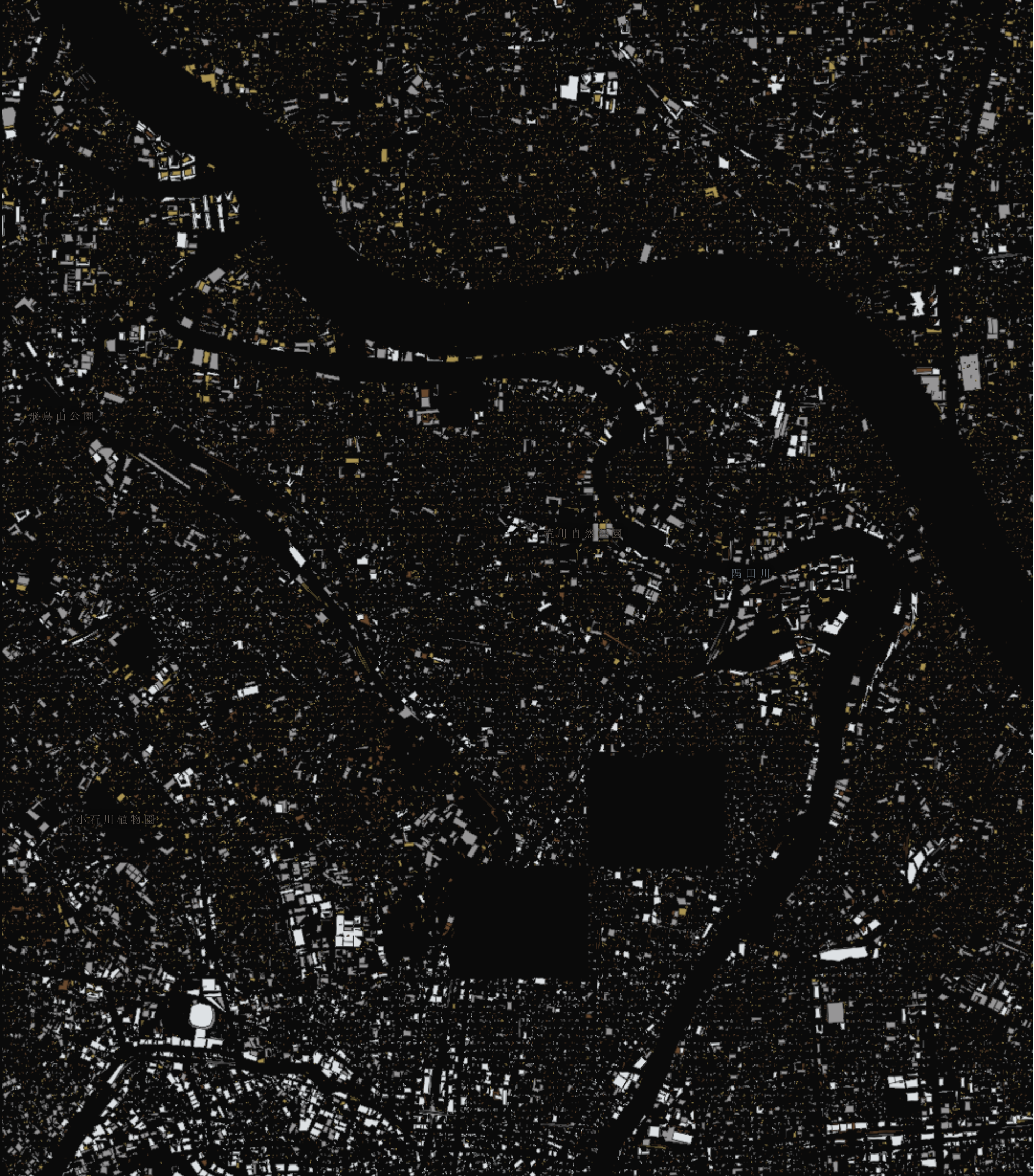
第 一 区 ・ 北 端 の 下 町

下町の北端、隅田川と荒川に挟まれた老町。朽葉色が最も濃く、形態地図上では低層の古層が連続する地層として浮かぶ。戦前の長屋と銭湯がいまなお路地に残り、明治・大正の街並みの輪郭がこの区では消えていない。

7 区中、朽葉色 50.6% と最も高い古層率。最高高度 154m、平均 9.8m——下町スケールが保たれている。

建物	84,869 棟
平均高	9.8 m
最高棟	154.4 m

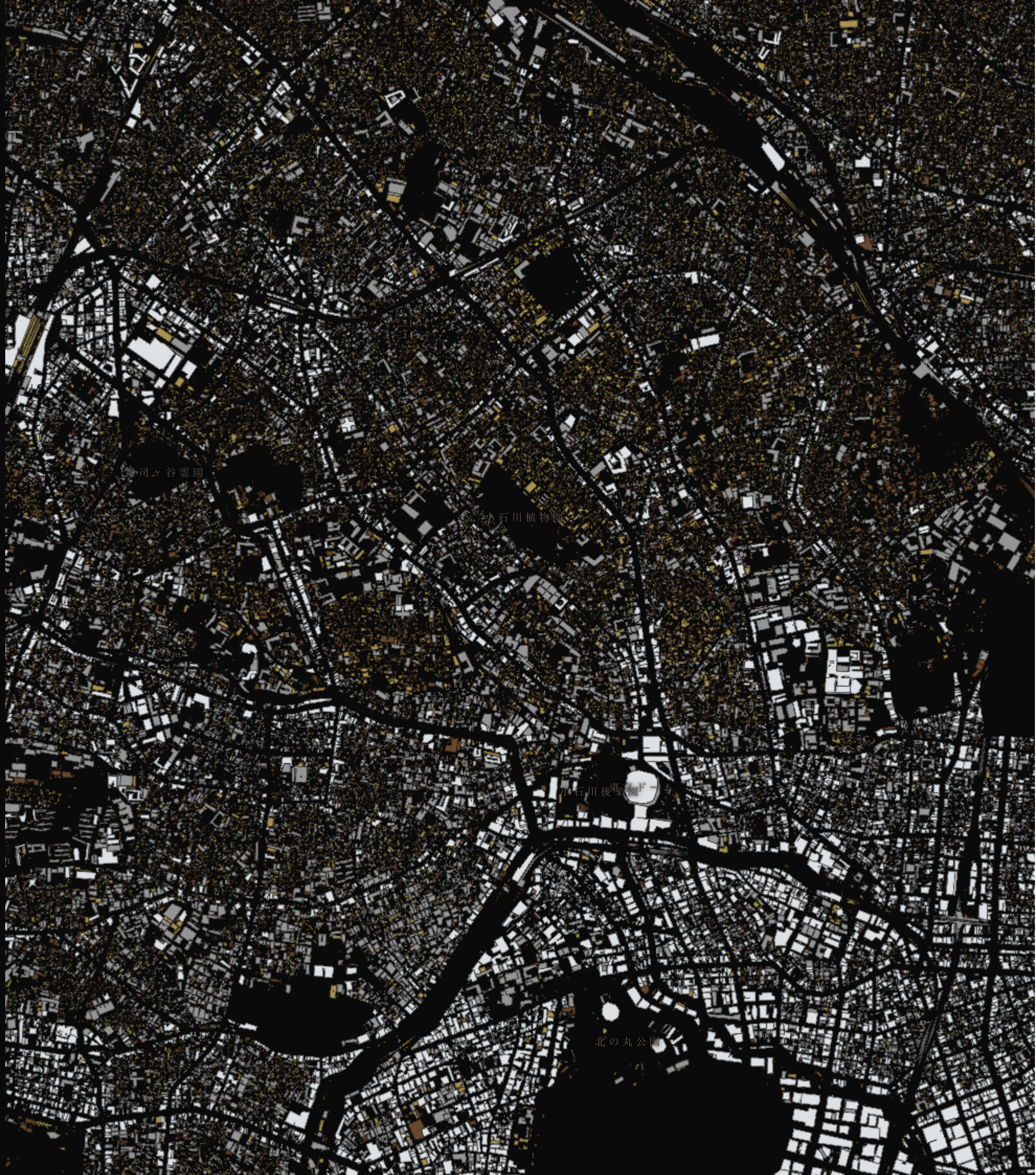
朽葉 50.6%	利休茶 24.1%	銀鼠 23.4%	月白 1.9%
----------	-----------	----------	---------



文京

本郷台地の住宅地。旧帝大と図書館の街。形態は朽葉と利休茶が穏やかに混じる中層が支配的で、戦前から続く屋敷町の骨格が残る。新宿副都心のような塔は持たず、谷を挟んで低中層がゆるやかに重なる地層となる。

建物	79,455 棟
平均高	12.1 m
最高棟	234.1 m



SHINJUKU

新宿

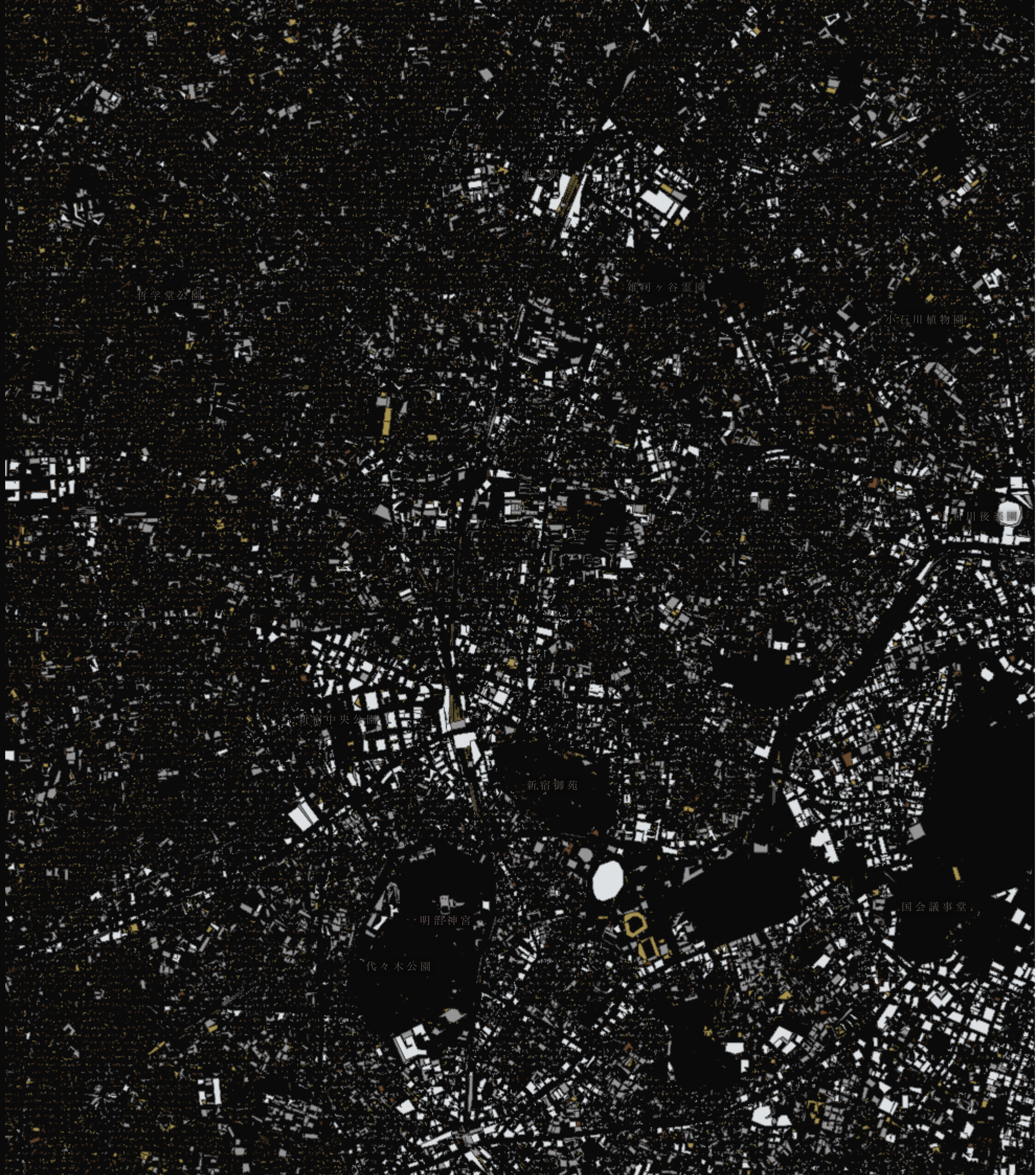
第三区・両極の区

西新宿の超高層ビル群と、神楽坂・早稲田の路地裏が同居する両極の区。形態地図上では月白の塔が西側に集中し、東側に朽葉の小さな点が散らばる。一つの区の中に「現代の塔」と「戦前の坂道」が、徒歩 30 分の距離で共存する。

建物 10 万 6588 棟——7 区中最多。最高 243m(西新宿)と古層 37.9% が同居する稀有な構造。

建物	106,588 棟
平均高	12.0 m
最高棟	243.3 m

朽葉 37.9%	利休茶 22.5%	銀鼠 35.3%	月白 4.3%
----------	-----------	----------	---------



CHIYODA

千代田

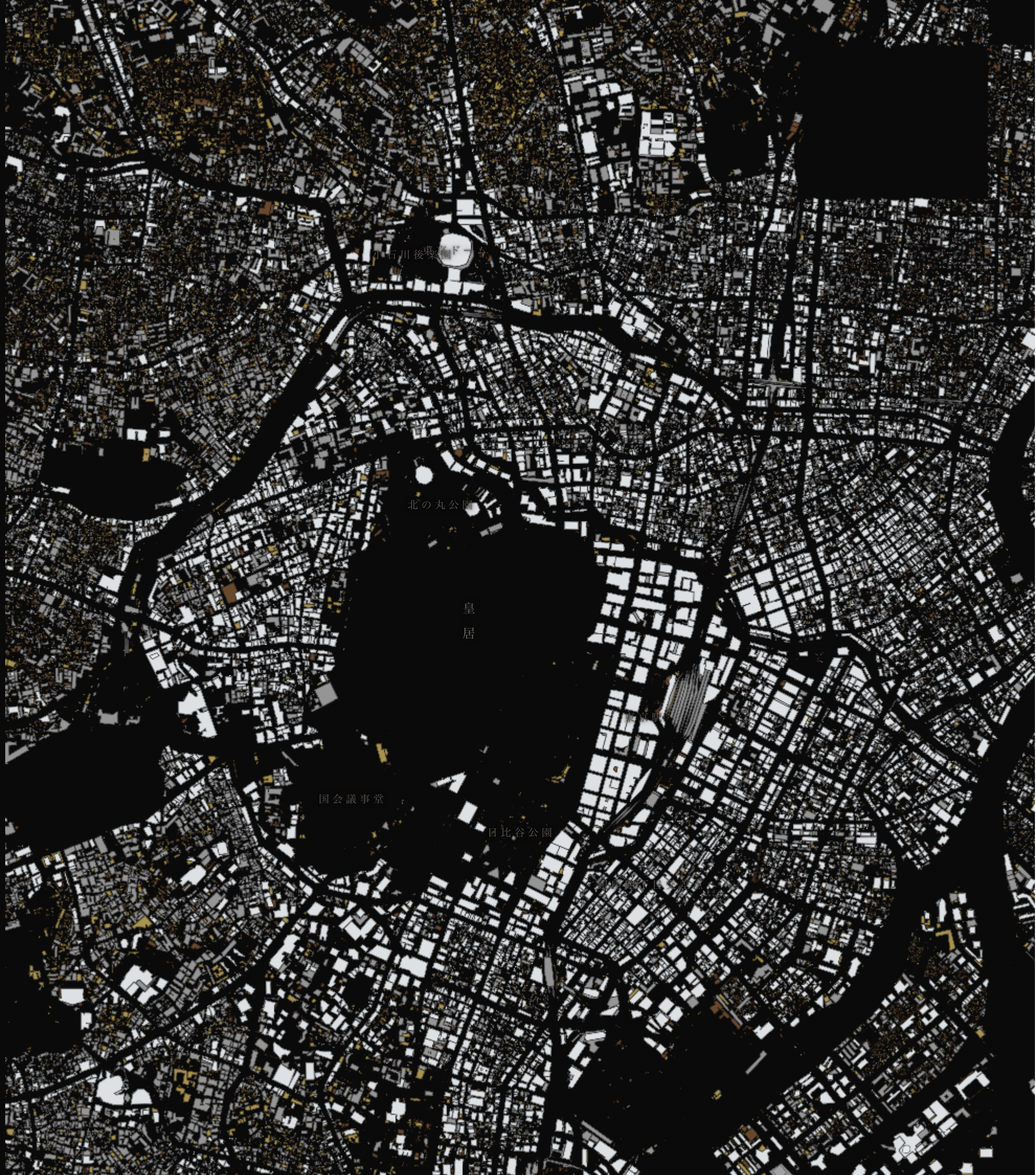
第四区・都心の核

皇居を中心とする都心の核。月白と銀鼠の高層が皇居周辺に整然と並び、丸の内・大手町は形態地図の最も明るい一角となる。番町・神田の一部に朽葉の残片が見えるが、戦後の都市計画によって地層は均質化されている。

月白比率 18.5%——7 区中で最大。平均高度 19.4m と最高。皇居の void が地層に空白の核を作る。

建物 38,833 棟
平均高 19.4 m
最高棟 264.6 m

朽葉 21.2% 利休茶 9.5% 銀鼠 50.7% 月白 18.5%



S H I B U Y A

渋谷

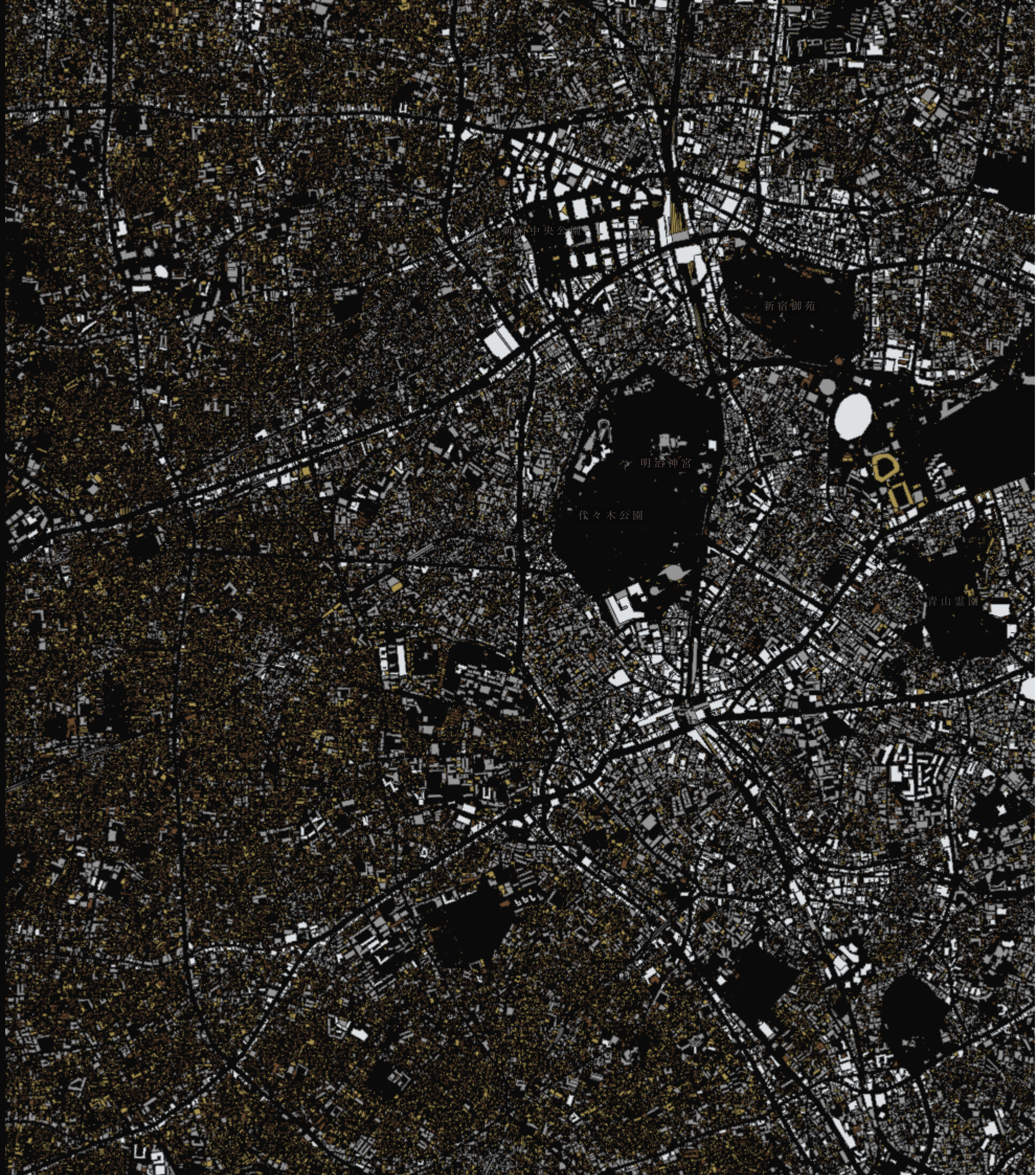
第五区・若い商業区

青山・原宿・恵比寿を含む若い商業区。形態地図では銀鼠の中層が主体、月白の塔が点在する。明治神宮の森が大きな黒の void として浮かび、その輪郭がこの区の geographic identity を作っている。

朽葉 42.3%、月白 4.0%——古層は残るが塔は控えめ。神宮の森の輪郭が南北に走る。

建物 90,299 棟
平均高 11.6 m
最高棟 243.3 m

朽葉 42.3% 利休茶 19% 銀鼠 34.8% 月白 4%



C H Ū O

中 央

第 六 区 ・ 江戸の中央

銀座・日本橋・築地・月島。江戸の中央。下町と高層が複雑に層を成す。月島・佃島には朽葉の長屋がいまも残り、隣接する豊洲・晴海は月白の超高層タワーが新たな地層を築きつつある。古層と最新層が一区内で対比される。

月白 16.7%——千代田に次ぐ高さ。古層 26.6% と銀鼠 45.0% が「江戸の骨格」を支える。

建物 37,193 棟
平均高 18.3 m
最高棟 235.2 m

朽葉 26.6% 利休茶 11.7% 銀鼠 45% 月白 16.7%



港

赤坂・六本木・品川・台場。山手と海岸の両方を含む。西側の山手は月白と銀鼠の高層、東側の海岸エリアは月白の超高層タワー群。形態地図の南端には、お台場・湾岸の人工島が独立した地層として広がる。

建物	53,783 棟
平均高	16.1 m
最高棟	332.1 m

